

ベトナムについて

ベトナムの社会経済の発展は目覚ましく、これは専門分野の教育、訓練、育成によるところが大きい。

ベトナム政府は、大学、大学院、TVET（職業教育訓練機関）の発展に力を入れてきた。TVETは主に高校卒業後に入学する3年以下の課程で、入学者の増加には私立校の増加が寄与しており、例えば、私立TVET校は2016年1,232校から2020年1,660校に増加、TVET校数に占める割合は同期間に46%から55%と公立を逆転した。これらの新設TVET校の設立には日本企業の関与している。

人口約1億人のうち、4割近くが農業関連の仕事に従事しており、国内総生産（GDP）に占める農林水産業の割合は15%程度にも及び、ITソリューションの活用、機械化の推進により、急速な発展を遂げている。

また、ICTの活用を通じたスマートシティの開発を進める動きが政府、民間企業の間で近年になり広がっている。現在、ベトナム全国の30以上の都市がスマートシティに関するマスタープランが策定され、ハノイ市、ホーチミン市、ダナン市は特にスマートシティ建設を進めている。